

平成29年度 消費生活相談の概要

1. 相談の状況

○相談総件数

1, 743件 (145件/月)

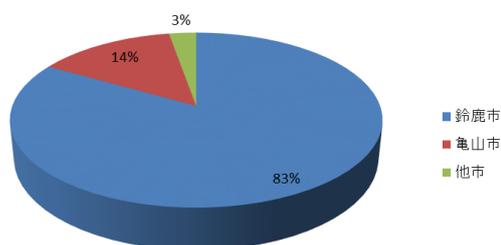
前年度比21.4%, 307件増

○相談者の住所別

鈴鹿市 1,452件

亀山市 243件

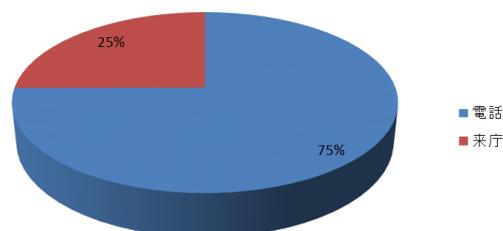
他市 48件



○相談方法別

電話による相談 1,306件

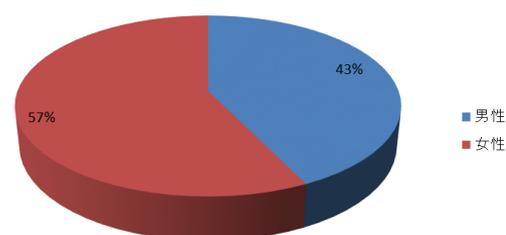
来所による相談 437件



○性別

男性 746件

女性 997件



○年代別

20歳未満 26件

20歳代 110件

30歳代 178件

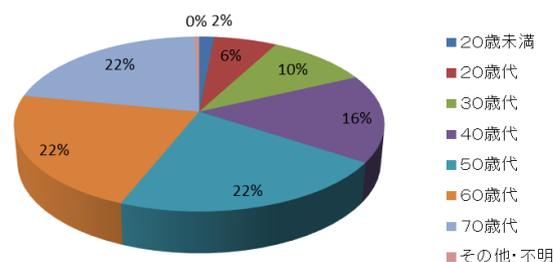
40歳代 283件

50歳代 380件

60歳代 383件

70歳以上 375件

その他・不明 8件



○弁護士相談件数

74件

2. 相談の内容

○不審な電話・訪問・郵便物に関する相談：386件（前年度62件）

不審な電話や訪問の他，架空請求のハガキが届くなどの相談。

○電子媒体（パソコン・スマートフォン）における架空請求・不当請求：

279件（前年度276件）

メールで「情報サイトの未納金」を請求されたという架空請求に関する相談や，副業サイト・アダルトサイト・出会い系サイト業者による不当請求，オンラインゲームの課金などに関する相談で，幅広い年齢層で上位を占めている。

○不動産等賃借に関する相談：64件（前年度67件）

主にアパートの退去時における多額の修繕費の請求や，賃貸住宅の修繕トラブルなどに関する相談。

○住宅リフォーム，新增築に関する相談：53件（前年度72件）

高齢者を狙った悪質な訪問販売（屋根工事，住宅リフォーム）や，住宅の新增築トラブルに関する相談。

○金融サービス（サラ金・クレジット）に関する相談：53件（前年度50件）

クレジットカード，ローン，サラ金，ヤミ金，債権回収会社からの請求に関する相談。

3. 啓発活動

○出前講座

公民館，老人会，まちづくり協議会，地区社会福祉協議会，幼稚園，小学校等

鈴鹿市 58回（2,308人）

亀山市 20回（739人）

合計 78回（3,047人）